



滋賀県立三雲養護学校

学校ホームページをのぞいてください

令和7年5月
石部分教室
取組紹介

五月の風とともに、
鯉のぼりとかぶとに願いをこめて



湖南三山 長寿寺

お寺の参道に並ぶ
分教室の生徒たちの力作



滋賀県立石部高等学校

滋賀県立三雲養護学校石部分教室

深く根を張れ！

ごぼう栽培スタート



農業班では、今年度新たに、ゴボウ栽培に挑戦しています。そのきっかけとなったのが「東寺献上ごぼう復刻プロジェクト」代表の窪田様との連携です。肥料袋に土を詰めて立て、50cm以上になるゴボウが育つように工夫しています。うまく育成してくれますように！

読売新聞 5月9日 滋賀

皇室献上ゴボウ「袋栽培」に挑む

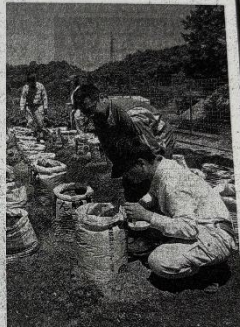
湖南の養護学校生

湖南市丸山の県立三雲養護学校石部分教室の生徒らが8日、校内の農地でゴボウの種まきを行った。

同市東寺産のゴボウは「東寺ごぼう」と呼ばれ、皇室に献上されたこともあり、同市の農業窪田匡希さん(50)が伝統野菜に再び光を当てようと、2019年に「東寺献上ごぼう復刻プロジェクト」をスタート。「ごぼう茶」に加工して販売するなどしてきた。しかし、土中で長さ80センチにも成長するゴボウは収穫に労力を要し、連作も難しいことから栽培に協力する農家が減り、ごぼう茶も欠品となっている。

この日は、同校の農業班の生徒5人とともに、袋に土を詰めて育てる「袋栽培」にチャレンジ。高さ40センチほどの袋を破れば、

生徒らとともに種まきをする窪田さん(右から2人目、湖南市で)



土が崩れてその分の長さのゴボウが姿を現すため、収穫が簡単になる利点がある。

窪田さんは「ごぼう茶にするなら、長さ40センチでも大丈夫。東寺の地で育てることに意義がある。形を変えても生き残り、特産品として育てたい」と話した。収穫は11月頃の予定という。

花を手向けたと語り



＜石部分教室＞

1 概要

石部分教室は、平成25年度に石部高等学校内に開設された。学年の定員が定められており、現在、1年生20名、2年生10名、3年生13名の計43名が在籍している。通学区域は、草津養護学校、野洲養護学校、三雲養護学校であり、日野町は伊吹分教室との通学調整区域である。また対象の生徒が、知的発達の遅滞が中度ないし軽度であり、日常生活および社会生活への適応の困難さが軽度である者とされることから、身の回りのことがほぼ一人でできることや一人での通学ができること、一斉の集団指導が受けられることを前提に、将来、できる限りの職業的自立と社会参加を目指し、教育課程を編成している。進路先は、企業就労、福祉的就労などがあり、生活の場も含めて、それぞれの生徒が主体的に進路を選択し、一人一人にとって望ましい卒業後の生活の実現を目指している。さらに、石部高等学校内に設置されていることから、行事などを通して両校生徒の思いやりや協調性のある豊かな人間性・社会性を育むことを目指している。

2 教育方針

青年期のはじまりである高等部段階では、自分自身のことを客観的に捉え、自分の今後の目標を明確にする力を育み、自立に向け、大きく成長（飛躍）する時期である。自分にとって必要な援助を求めることができる力や、少し先のことを見通しながら自分で様々なことを選ぶことができる力をつけるために、自己理解を深め、自己肯定感を高める教育を目指す。また、学ぶ意欲を育てながら、今までに積みあげてきた基礎学力を土台に幅広く生活に応用できる力をつけ、あわせて主体的に生きていく力、自立する力を積み上げていけるようにする。そして、卒業後の生活を見据えた視点に立ちながら、生涯にわたって自立し社会参加していくために、卒業後もしくは、将来的に職業的自立ができるように、その基礎的な体力や社会性、能力を培い、個々に合わせた教育を目指す。さらに、関係機関との連携を密にしながら、様々な方向から個々の目標を達成するために支援し、学習活動及び進路指導に取り組む。

3 教育目標

- ◎ ノーマライゼーションの理念のもと、お互いを尊重し合い、社会で自立できる自信と力を育む。
- ◎ 自己理解を深め、自己肯定感を高めながら、自己実現に向けて主体的に生きる力を育み、社会参加と自立を目指す。
 - (1) 規則正しい生活を身につける。
余暇を有意義に過ごす力をつける。
 - (2) 体力をつけ、使いこなす力を身につける。
 - (3) 基礎学力を充実させつつ、日常生活でのさまざまな課題に適切に対処する力をつける。
社会参加していくための基礎的な知識を身につける。
 - (4) 場に応じた適切な言動やコミュニケーションをとることができる。
社会のルールやマナーを身につけ、社会の一員としての自覚を持つことができる。

4 学部のスローガン

「協力・支え合い、そして己に克つ（人のため・社会のため、自分のため）」

5 教育課程の特色

(1) 各教科等

- ・基礎学力の定着を大切にし、生活に即した内容を取り上げることで、将来の生活的自立につながる学習を行う。
- ・体力の維持・向上に努めるとともに、社会人として必要な知識や技術を身につけるための学習を行う。
- ・余暇を充実して過ごすために、必要なスキルや人とのかかわり方などの学習を行う。

(2) 作業学習

1年生

- ・「園芸」「食物加工」「メンテナンス」の3つの種目を学習し、働くイメージや働くことへの関心・意欲、働くために必要な態度などの基礎的な力を育む。
- ・早い段階から、集団で企業等への校外での実習に取り組み、働く意欲や態度などの「基礎」を培う。

2、3年生

- ・「木工」「窯業」「布加工」「食物加工」「農業」の5つの作業種目からひとつを選択し、種目ごとに2、3年生が合同で取り組む。
- ・個々に合わせた校外での実習を通じて、「実践的」に学習することで培った力の「定着」を図り、卒業後の進路に対してより意識を高め、幅広く就労へ対応できる能力の育成を図る。

(3) 学級編成

学校生活の基礎となる学級編成は、1日のリズムや生徒同士のひびきあい、集団としての高まりを大切にする観点から、個々の生徒の目指すべき課題に合わせた集団編成を組んでいる。

(4) 石部高校とのかかわり

石部高校の行事に可能な限り参加し、卒業後の社会参加に向けて交流する。

学 校 教 育 目 標
<p>人間としての尊厳と可能性への信頼を原点として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人ひとりの発達と障害に応じた教育を行う。 ・健康で明るい生活をするために、調和のとれた心身の育成に努める。 ・社会的・職業的に自立できる人間の育成をめざす。

学部教育目標（石部分教室）
<p>◎ノーマライゼーションの理念のもと、お互いを尊重し合い、社会で自立できる自信と力を育む。</p> <p>◎自己理解を深め、自己肯定感を高めながら、自己実現に向けて主体的に生きる力を育み、社会参加と自立を目指す。</p> <p>＜健康・生活＞</p> <ul style="list-style-type: none"> * 規則正しい生活を身につける。 * 余暇を有意義に過ごす力をつける。 <p>＜身体能力＞</p> <ul style="list-style-type: none"> * 体力をつけ、使いこなす力を身につける。 <p>＜認知＞</p> <ul style="list-style-type: none"> * 基礎学力を充実させつつ、日常生活でのさまざまな課題に適切に対処する力をつける。 * 社会参加していくための基礎的な知識を身につける。 <p>＜社会性・コミュニケーション＞</p> <ul style="list-style-type: none"> * 場に応じた適切な言動やコミュニケーションをとることができる。 * 社会のルールやマナーを身につけ、社会の一員としての自覚を持つことができる。

教育課程編成上の観点(石部分教室)
<ul style="list-style-type: none"> * 自己理解を深め、自己肯定感を高めるとともに、主体的に生きていく力、自立する力を積み上げていけるように、卒業後の職業的自立を見据えた視点に立ちながら、個々に合わせた教育を目指す。 * 学校生活の基礎となる学級編成は、1日のリズムや生徒同士のひびきあい、集団としての高まりを大切にす観点から、個々の生徒の目指すべき課題に合わせた集団編成を組んでいる。 <p>《各教科等》</p> <ul style="list-style-type: none"> * 基礎学力の定着を大切にし、生活に即した内容を取り上げることで、将来の生活的自立につながる学習を行う。 * 体力の維持・向上に努めるとともに、社会人として必要な知識や技術を身につけるための学習を行う。 * 余暇を充実して過ごすために、必要なスキルや人のかかわり方などの学習を行う。 <p>《作業学習等》</p> <ul style="list-style-type: none"> * 1年生は「園芸」「食物加工」「メンテナンス」の3つの種目を学習し、働くイメージや働くことへの関心・意欲、働くために必要な態度などの基礎的な力を育む。また、早い段階から、集団で企業等への校外での実習に取り組み、働く意欲や態度などの「基礎」を培う。 * 2、3年生は、「木工」「窯業」「布加工」「食物加工」「農業」の5つの作業種目からひとつを選択し、種目ごとに2、3年生が合同で取り組む。また、個々に合わせた校外での実習を通じて、「実践的」に学習することで培った力の「定着」を図り、卒業後の進路に対してより意識を高め、幅広く就労へ対応できる能力の育成を図る。



*「特別の教科 道徳」は、「作業学習」の中で取り扱う。

石部分教室 教育課程表(令和7年度)

種別			知・単		
各教科科目等	コース		職業コース		
	学年		1年	2年	3年
各教科等を 合わせた指導	作業学習	メンテナンス	9 (*)		
		園芸			
		食物加工		10 (**)	10 (**)
		農業			
		窯業			
		布加工			
		木工			
各教科	国語		2	2	2
	社会			1	1
	数学		2	2	2
	理科		1		
	音楽		1	1 (****)	1 (****)
	美術		1	1 (****)	1 (****)
	保健体育		3	3	3
	職業		1	1	1
	家庭		1	1	1
	情報		1	1	1
特別の教科	道徳		(****)	(****)	(****)
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間		1	1	1
特別活動	ホームルーム活動 生徒会活動		2	2	2
自立活動	自立活動		5	5	5
週合計			30	30	30

* 1年生の作業学習は、「食物加工」「メンテナンス」「園芸」の3種目をそれぞれを履修する。

** 2、3年生の作業学習は、「農業」「食物加工」「窯業」「布加工」「木工」の5種目から
いずれかひとつを選択し履修する。また、2、3年生合同で取り組む。

*** 2、3年生の「音楽」「美術」は、いずれかひとつを選択して履修する。

**** 「特別の教科 道徳」は、「作業学習」の中で取り扱う。

石部分教室週時程表

分教室週時程表/(2・3年)					
	月	火	水	木	金
<u>1校時</u> <u>9:00－9:50</u>	<u>SHR</u> <u>自立活動</u>	<u>SHR</u> <u>自立活動</u>	<u>SHR</u> <u>自立活動</u>	<u>SHR</u> <u>自立活動</u>	<u>SHR</u> <u>自立活動</u>
<u>2校時</u> <u>10:00－10:50</u>	情報	作業学習	職業	作業学習	社会
<u>3校時</u> <u>11:00－11:50</u>	数学	作業学習	家庭	作業学習	数学
<u>4校時</u> <u>12:00－12:50</u>	国語	作業学習	総合的な探究の時間	作業学習	国語
<u>12:50－13:40</u>	<u>給食指導</u> <u>昼休み</u>	<u>給食指導</u> <u>昼休み</u>	<u>給食指導</u> <u>昼休み</u>	<u>給食指導</u> <u>昼休み</u>	<u>給食指導</u> <u>昼休み</u>
<u>5校時</u> <u>13:40－14:25</u>	保健体育	作業学習	保健体育	作業学習	選択芸術
<u>6校時</u> <u>14:35－15:20</u>	保健体育	作業学習	LHR	作業学習	LHR
<u>15:20－15:30</u>	<u>SHR</u>	<u>SHR</u>	<u>SHR</u>	<u>SHR</u>	<u>SHR</u>